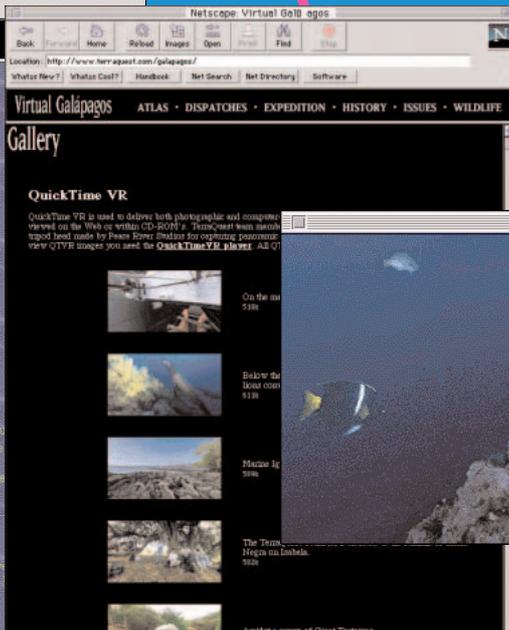
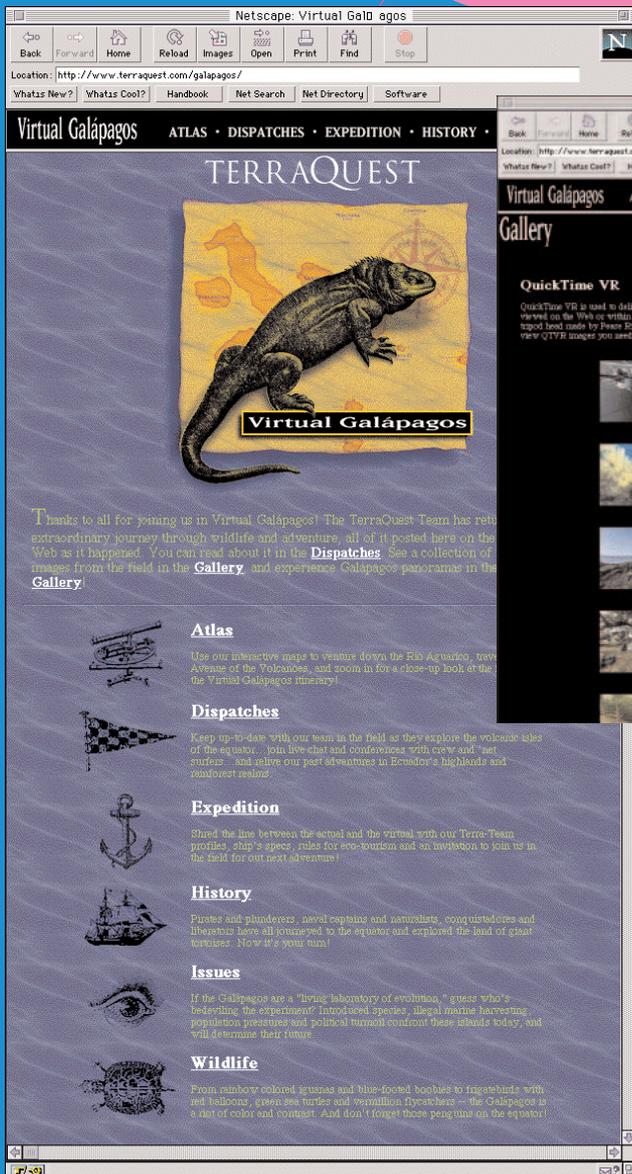


What's Cool

今泉 洋の



# What's Cool

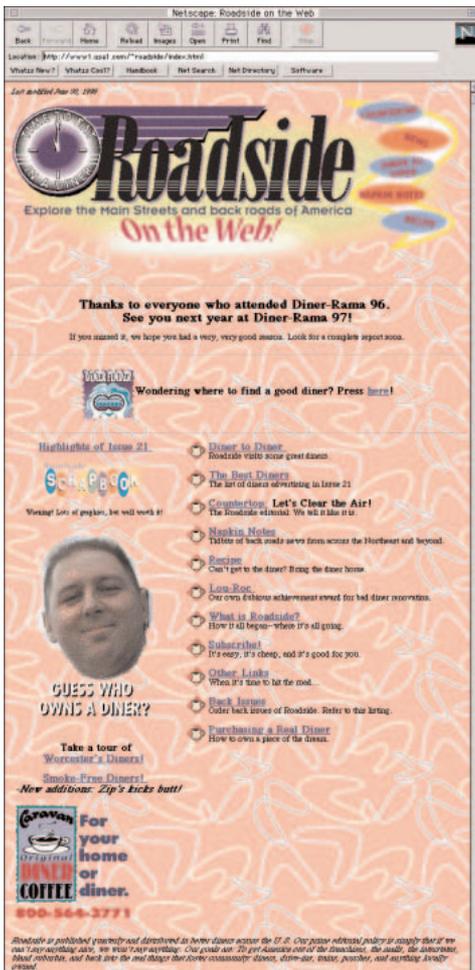


## TVとインターネットで中継されたガラパゴス探検記 Virtual Galapagos

URL <http://www.terraquest.com/galapagos/>

東太平洋の赤道直下、中米エクアドル沖に位置し、周辺から隔離された環境のため独自の生態圏を保っているガラパゴス諸島。19世紀末にダーウィンがビーグル号でこの地を訪れ、巨大なゾウガメやウミトカゲなど固有種を観察、これがのちの進化論成立へつながったことはよく知られている。このウェブページは今年の5月、1か

月間にわたってガラパゴス諸島を探索した環境研究チームの活動の様相を収めたもの。同地に棲息する様々な動物の様子を、日々の探検の様相を記した日誌やQTVRの映像を含む豊富な資料で楽しむことができる。残念ながら夏休みにどこにも行けなかった人はぜひ一度アクセスしてみよう。



## 古きよきアメリカのシンボル「ダイナー」のウェブ

Roadside on the Web

URL <http://www1.usa1.com/~roadside/index.html>

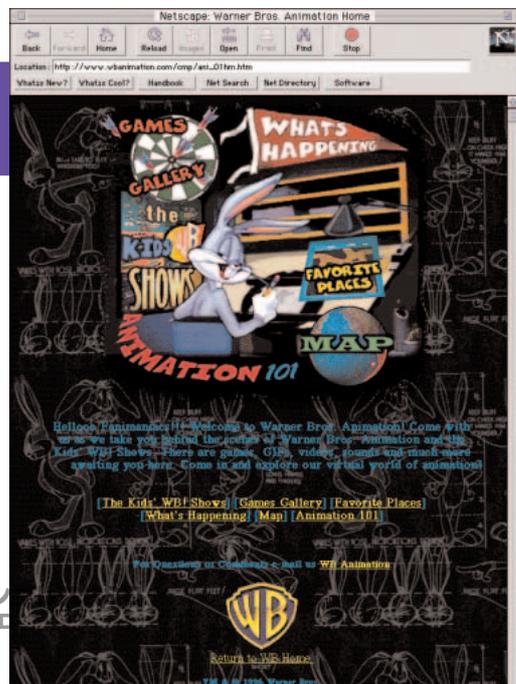
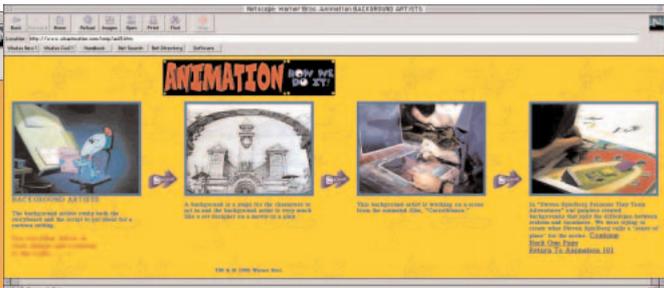
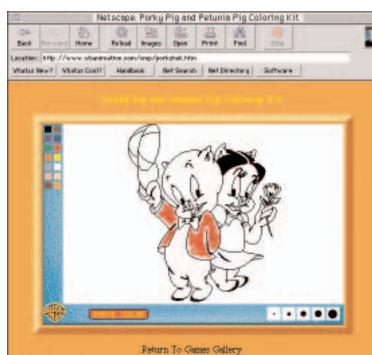
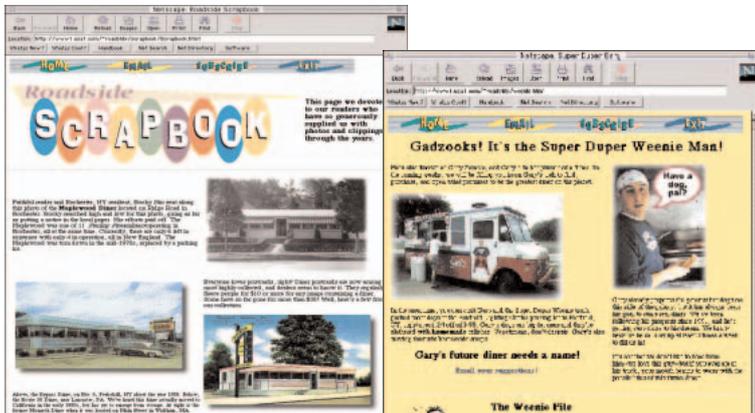
日本語で説明してしまうと「道路脇にある簡易食堂」になってしまうのが残念だが、ダイナーは明らかにアメリカの風物詩とでもいうべき存在だ。60年代の後半からめっきり数は減ってしまったが、主にプレハブ工法で建てられる独特の建物のスタイル、コーヒーと簡単な食事、そして土地の名物料理をサービスするフレンドリーな空間にまで愛着を

感じる人は多い。

このウェブページは主に東海岸の郊外地域を中心として各地に残るダイナーのリストおよび訪問レポート、オーナーや自慢料理の紹介、これからダイナーを経営してみたい人のための入手方法や売買情報、改装についてのティップス、施工会社のリストなどをまとめたものだ。なかでも面白いのは、いくつかはダイナーを開

こうと夢見てトラックでホットドッグを売っていた青年のレポート。どうやら叔父さんの遺産で念願のダイナー開業に一步近づいたらしい。

また、先頃開かれたダイナーファンおよびそのオーナーたちの年次コンベンション「ダイナーラマ96」の模様も収録される予定で、この号が出るころにはその模様を見ることができるともかもしれない。



## 面白いにはワケがある WBの人気アニメ制作のプロセスを逐一解説

Welcome To Warner Bros. Animation!

URL <http://www.wbanimation.com/>

バグズバニーなどでおなじみのワーナーブラザーズのアニメーションウェブサイト。

ダフィー・ダック、猫のシルベスターと小鳥のトゥイーティといった有名アニメキャラクターのグラフィックスやビデオ、オーディオなど、この手のウェブなら必ず備わっているウェブに加えて、ショットクエープを使った塗り絵や

ジグソーパズルなど、ファンならずとも楽しめるプログラムが満載である。

しかし、これだけで満足するのはまだ早い。見落としてならないのが、普通のアニメ系ウェブでは見かけることのない、アニメ制作のプロセスを解説した「アニメーション101」というコーナー。ライターやデザイナー、レイアウトアーテ

ィスト、バックグラウンドアーティスト、声優といったおおぜいの人々によってアニメーションが作られていく様子が写真とテキストで詳しく説明されている。アニメというと、とかくアニメーターだけに注目が集まりがちだが、声優さんの苦労話など、インタビューもあって、なかなかお勉強になるウェブページである。



## リクルートのやる気が見える ユニークな会員サービスで充実の検索サービス WebdeW

URL <http://webdew.rnet.or.jp/>

住宅情報の「ふおれんと」や中古車情報の「カーセンサー」など、“使えるサイト”として最近特に評価の高いリクルート社のホームページに加わった検索サービス。

複数ワード検索の「AND」あるいは「OR」のオプション、検索結果の表示数指定、対象とするサイトの範囲が18歳未満もOKのものかどうかなどの指定ができる検索をはじめ、編集部お勧めの“すぐれもの”ページを集めた「COOL」など、実に細かなところまで気を入れた内容。検索結果ごとに要約情報や各ページのサービスをアイコン表

示して出力するなど、仕組みは多少凝りすぎ（そのわりに解説は甘い！）という感じがしなくもないが、絶対に見逃せないのが登録（無料）したユーザーだけに提供されるスペシャルコーナー。

毎日更新されるウェブデータのデータの中から編集部が選んだ情報を毎週メールで届けてくれる「WebdeW ニュース」、興味のあるカテゴリーやキーワードを登録すれば条件にぴったりの情報を届けてくれるといったサービスがある。

いまひとつ煮え切らない企業のウェブが多いなか、まさに「ここまでやるか」の“怪”進撃である。

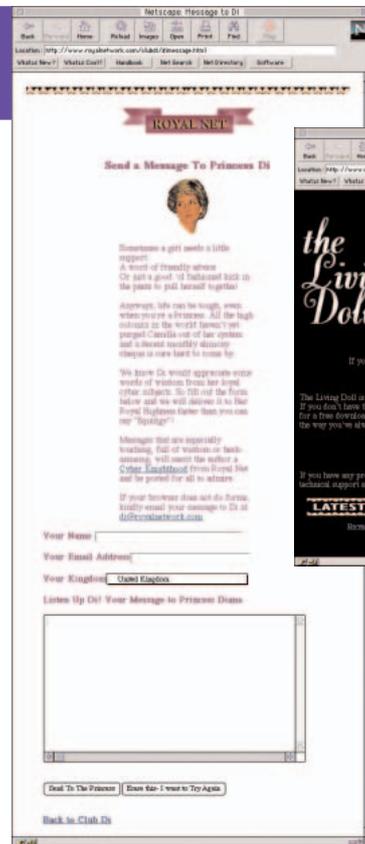
## 話題にこと欠かない英国王室をネタに盛り上がるロイヤルネット Royal Network

URL <http://www.royalnetwork.com/>

先頃、米国の週刊誌が掲載した日本の皇室（皇太子妃）についての記事が話題になったが、王室や皇室といった存在とは無縁な多くのアメリカ人にとって、どうやらこの手の話題は芸能ゴシップ的存在以外の何ものでもないようだ。インターネット初のロイヤルウェブと称するこのページ。最新の英国王室情報、やんご

とき方々のバイオグラフィーはもとより、「もしあなたが女王だったら」とか「ダイアナ妃への手紙」といったユーザー投稿ページや「英国王室にひと言」といった電子伝言板など、英国王室をネタにしたお茶目なコンテンツがいろいろ。これ以外にも、ユーザーが自分自身で王室メンバーの中からピックアップしたい人物の

写真を選び、記事の見出しを書いてタブロイド紙のレイアウトを指定する「Create Your Own Royal Headline」やシヨックウェブを使ったダイアナ妃の“着せ換え人形”プログラム「Living Doll Diana」など、かなりあぶない内容も多くて楽しめる。



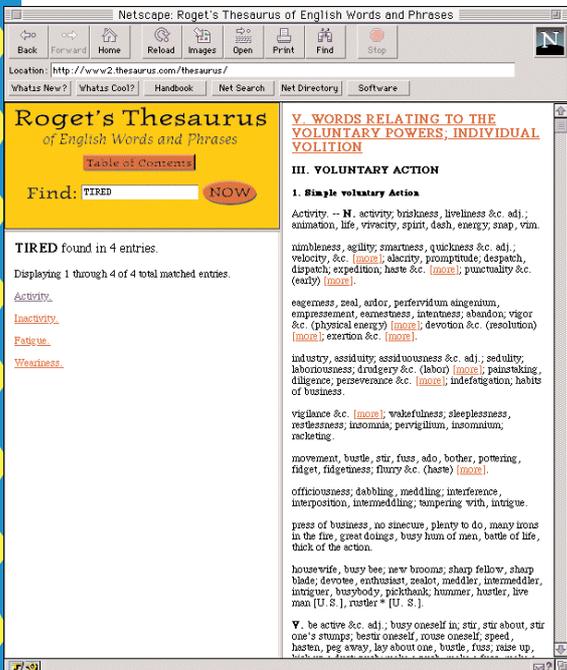
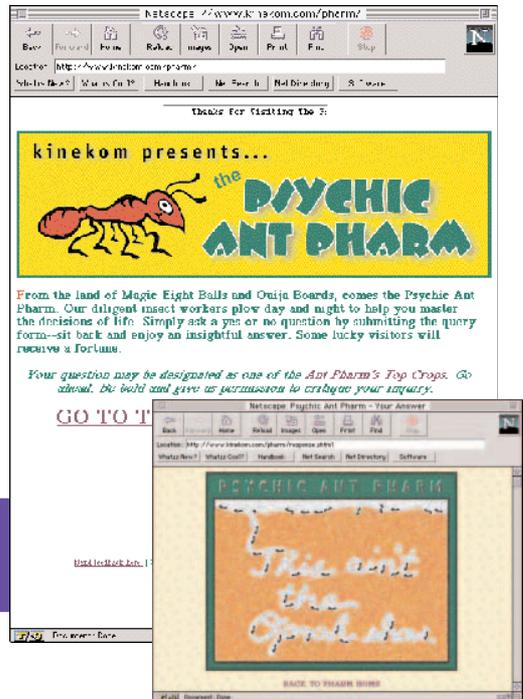
世の中にはいろんな占いがあるが、まさかアリにモノをたずねてみようと思う人は、ないだろう。第一、アリがどうやって答えを返してくれるのか...と誰もが思うに違いない。ところがこのページでは、あなたの入力した疑問にアリの集団が見事にイエスカノーかで答えてくれるのである。その仕組みはというと、昔理科の教材で見かけたガラス

の向こうのアリの巣パターンという意外なもの。馬鹿馬鹿しいにもホドがあるというが、それでもアリの巣の描くパターンを楽しみに素朴な疑問をタイプする自分が情けないやらおかししいやら.....。こうした仕組みを一番楽しんでいるのは、お馬鹿な質問の数々をまとめて読むことのできるウェブの管理者。さすがに彼らもその楽しみを広く

世界に公開すべきと考えたのが、最近、ユーザーの質問のうち見事なものをリストアップしたページ「Ant Pharm Top Crops」が登場した。読んでみると、これがなかなかおもしろい内容で楽しめる。最近、ほのぼのとした笑いも縁のない人には一度アクセスしてみることをお勧めしよう。

## 世界のユーザーの素朴な疑問に答える 世にも珍しいアリの御託言 psychic Ant Pharm

URL <http://www.kinekom.com/pharm/>



## 言葉の不思議の迷宮 ハイパーテキスト版ロジェのシソーラス Roget's Thesaurus of English Words and Phrases

URL <http://www2.thesaurus.com/thesaurus/>

アメリカの学生にとって辞書とともに必携となっているのが「Roget's Thesaurus」つまり類義語辞典である。基本的には論文などを書く場合、隣接する文の中で同じ単語の反復使用を避けるため、類義の言葉を探す目的で使われるのだが、選択した言葉が文脈に適切かどうか意味をチェックしたり、キーワードをベースに発想を広げる目的で使

われることもある。このウェブページはグーテンベルグ・プロジェクトの一環としてオリジナルの文書を電子化したものをさらにHTML化したもの。まずは単語を入力するとその語の意味や関連する類義語が表示される。また説明文の中の単語にもリンクが張られており、次々にリンクをつたっていくこともできる（もっとも次第に頭がぐち

やくちゃになってしまう恐れが大きい.....）。このほか、シソーラスに入っている単語をアルファベット順に表示したり、ロジェ氏の作成した6つのカテゴリーの中の言葉の位置付けなどを確かめることができる。言葉の意味のリゾームの状態を楽しむことができれば最高に面白いページである。

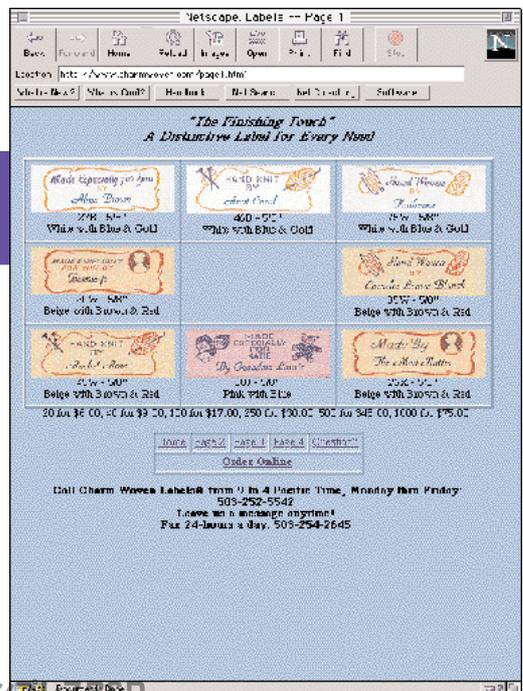
## ハンドメイドの服にオリジナルのラベルを付けるのがニュークラシック Charm Woven Labels

URL <http://www.charmwoven.com/>

このところ、日本では自分で服を縫ったり編んだりという殊勝な女性を見かけることがめっきり少なくなった。確かに皆忙しくてそんなひまはないし、現在の買い手優位のマーケットでは、どんなものでも手ごろな価格で買うことができるのだから分からなくもない。だが逆に言えば、そういう時間を持っているのは最

高のぜいたくということにもなる。そんなあかしをアピールする（というのが、かにもアメリカ的だが）のいうってつけないのが、カスタムメイドのラベル。このウェブページでは、表示される見本の中から適当なデザインを選んで文字（たとえば、「made by ~」や「made for ~」など）を指定すれば、オリジナルなラベルを

注文できる。デザインはちょっとオールドファッションだが、それがまたクラシックでいい味を出しているし、価格も20枚で6ドル程度とリーズナブル。ハンドメイドの服に自分のオリジナルネーム、あるいは好きな人の名前が入ったラベルを付けるというのは新しいプレステージになるかもしれない。





何とかとハサミは使いようと言うが、自己暗示というのもこれに劣らず使い方が難しい。その気にならなければ何事も実現できないし、思い込みが強すぎると視野狭窄に陥る危険もある。

それはともかく、自分を肯定的にとらえようというポジティブシンキングのためのステッカーをインターネット上で販売しているのがこのウェブサイト。「私は勝者だ」とか、ラスベガスでひとやま当てるための「自分が勝っているのが見える」という車のウィンドウ用透明

ステッカー、さらにレノン=マッカートニー・コンビの歌詞の一部を使ったものなど、自己暗示のためのパーソナル標語(?)のオンパレードで、コピーをながめるだけでも興味深い。さらにちょっと驚きなのが、アトランタオリンピック開催を記念して選手に無料提供しているという「勝てる自信のつくステッカー」プレゼント。サブリミナル効果があるとうたっているが、効果のほどは? 少なくともこのウェブ制作者のやる気には有効に作用しているようだ。

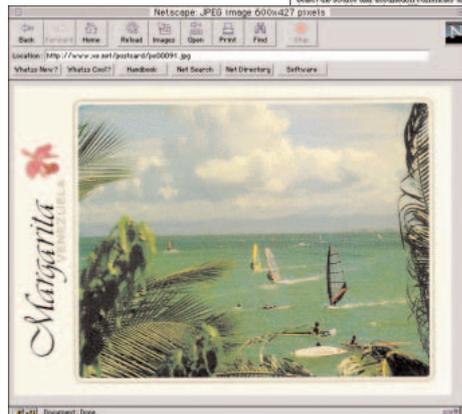
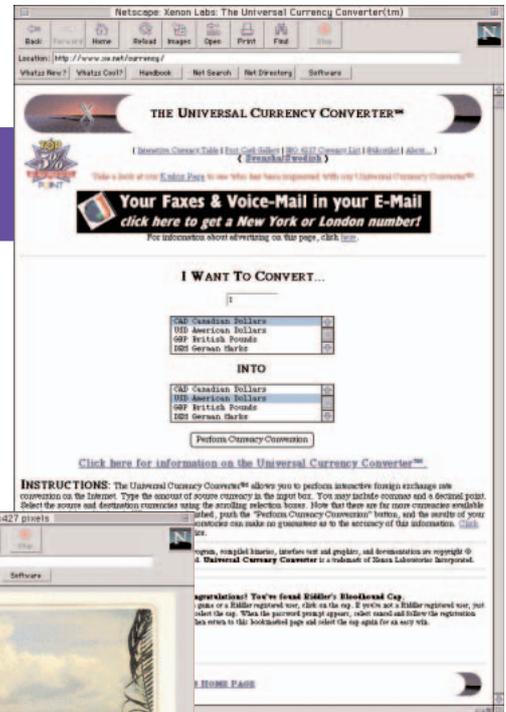
ポジティブシンキングのためのステッカーをWWWで販売  
 Brainsticker's Say something positive to yourself! Everyday!  
 URL <http://www.affirmation.com/>

## ポストカードウェアで運営されている世界の通貨換算サービス Xenon Labs: The Universal Currency Converter (tm)

URL <http://www.xe.net/currency/>

世界の主要49か国と1地域(EC)の通貨を相互に換算できるサービス。換算の基準になっているのはモントリオール銀行がカナダの全国新聞「グローブ・アンド・メール」紙に提供しているレートである。使い方は簡単で、金額を入力し、どの国の通貨であるかを選び、次にどの国の通貨に換算したいかを指定するだけ。さらに換算表のページもあり、登録すれば電子メールで

通知してくれるサービスが受けられる。ただし、こちらはポストカードウェア。つまり、気に入ったらエアメールで郵便はがきを送るというものだ。というわけで、このサイトにはポストカードギャラリーもあり、世界各地から寄せられたはがきやそれに貼られていた美しい切手の写真も見ることができる。実用的な上にちょっとしたごめるといふ気の利いたウェブページだ。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)